

後見人制度の取り組み状況は

福田 智恵 議員 (市民連合)

問 市民の権利を保障する、法定後見人の市町村長申し立ては、全国的に急増しているが、県内では、後見ニーズがあるにもかかわらず、自治体に伝わっていないと言える。成年後見の促進と体制づくりは待ったなしであり、基盤を作る必要がある。

①市長申し立てによる法定後見人の推移と見解は。
②後見人制度の普及や成年後見人センターの設置、市社会福祉協議会と連携した市民後見人の養成及び養成講座の開催、市民後見人の活動を推進するための支援体制について、見解は。

また、新年度から、市社会福祉協議会が法人後見のモデル事業に取り組みことから、この取り組みを支援していく。

これから高齢化時代が進む状況にあつて、後見人制度の受け皿を地域の中で整備していく必要がある、このモデル事業を支援していく中で、これまでの「あすてらす」で育成した人材の活用や、市民後見人を養成していく仕組みの検討、また、福祉関係者による後見が必要な方の掘り起こしなどについて、全体的に取り組んでいけるよう進める。



答 ①市長申し立て件数は、21年度6件、22年度1件、23年度3件であり、必要な方に対して適切な支援を行ってきたと認識している。

②地域包括センターや障がい者生活支援センターと連携し、パンフレットの配布や相談業務の中で制度の普及啓発に取り組んでいる。

その他の質問項目

- ①市長の政治姿勢(24年度予算編成ほか) ②産業政策 ③地域が主体となったまちづくり
- ④福祉行政(地域包括ケア)
- ⑤保育士のスキルアップ ⑥教育行政(一条中学校の宇都宮工業高校跡地への移転、小中一貫教育と地域学校園ほか)
- ⑦消防行政 ⑧地域防災

宮っ子ステーションの運営方法の見直しを

保坂 寿 議員 (みんな)

問 市では、子どもの家・留守家庭児童会事業と放課後子ども教室事業という異なる2つの事業をまとめ、「宮っ子ステーション」として、宮っ子ステーション運営組織が両事業を実施することとしている。

しかし、子どもの家・留守家庭児童会の運営組織を宮っ子ステーション運営組織に移行するのは容易ではなく、運営委員には負担が大きいため、最悪、事業継続が困難になってしまう。

そこで、両事業について別々の運営組織と委託契約するよう変更し、各事業の運営委員の代表が宮っ子ステーションとして、両事業の連携を図る仕組みにした方がスムーズに行えると考えるが、見解は。

くりも促進されるため、全小学校区での早期実施に向けて事業を推進している。今後とも宮っ子ステーションの新規立ち上げにあたっては、既存の子ども家庭等運営組織を宮っ子ステーション運営組織へ円滑に移行するために、児童の健全育成にかかわる地域の皆さんの理解と協力を得られるよう、宮っ子ステーションの趣旨や概要だけでなく、両事業の連携の必要性、会計処理などきめ細かに説明しながら、事業の立ち上げ支援に努めていく。



その他の質問項目

- ①安心・安全なまちづくり(防災・減災マニユアル整備)
- ②成人式事業 ③童謡が流れるまち宇都宮 ④自転車まち宇都宮の推進(自転車走行空間、レンタサイクルほか)
- ⑤証明書等交付サービス ⑥イノシシ対策

熱気球大会支援のさらなる拡大を

今井 政範 議員 (維新の会)

問 とちぎ熱気球インターナショナルチャピオンシップについてどう。

①大会の周知に市が全力で協力すべきと考えるが、どのように周知活動を行っていくのか。
②多くの人を呼び込むためには、多くの人的、物的、金銭的支援が必要と考えるが、どのような支援の準備があるのか。
③他の開催市に比べ、市の関連予算は低額である。経済効果に見合った予算が必要と考えるが見解は。

また、新たな仕掛けづくりもあわせて検討していく。

③この大会は、栃木市や佐賀市の大会ではみられない、唯一広域連携により実施されている大会であることから、今後、近隣自治体とのバランスにも配慮しながら検討していく。

答 ①ホームページや広報紙など、あらゆる広報チャネルを通して広報啓発に努めており、23年度にはさくら市と連携したPRも展開した。24年度は新たに首都圏での観光キャンペーンやスカイツリーアンテナショップでのPR、広域連携による情報発信など充実を図る。

②これまでも駐車場の確保や下草刈り、警備や会場内の清掃などの人的支援を実施してきた。しかし、観客の増加に伴い交通混雑、トイレ不足など新たな課題も出てきたため、今後、実行委員会や関係者と対応策を検討していく。

その他の質問項目

- ①うつつのみや産業振興ビジョン ②小水力発電によるエネルギー政策(今後の取り組み、予算)
- ③市有地の有効活用
- ④平出工業団地産業廃棄物処理施設設置許可 ⑤学校における放射線対策 ⑥伝統文化の地域継承者の育成 ⑦教育の情報化の推進



▲昨年の大会の様子